

医療研究全国集会 Ibaraki



2026年6月28日
第3号

第53回医療研究全国集会 in 茨城

人権・いのちの尊厳を守ろう

《主催者あいさつ》

日本医労連
中央執行委員長
佐々木 悦子さん



今国会では、さらなる病床削減・医療費抑制や、山間地域などでの介護サービスの人員配置基準緩和、OTC類似薬の保険外しなどを含む法改正が強行されています。さらに、高額療養費の負担増も進められ、生存権がないがしろにされる一方、大企業・富裕層優遇が進み、相対的貧困が広がっています。経済的理由で受診できず手遅れとなる事例も後を絶ちません。こうした中、経団連や財務省は医療・介護分野の効率化や生産性の低さを指摘していますが、現場では人手不足と経営悪化が深刻化し、医療・介護崩壊の危機が現実のものとなりつつあります。

医療研究集会は、「国民と広く連帯し、患者・利用者・地域住民と、医療・介護・福祉労働者の人権・いのちの尊厳を守ろう」をメインテーマとしています。私たち一人ひとりが学び行動し、いのちと暮らしを守る政治に転換させましょう。

ジェンダー視点で日本の社会保障を考える

茨城大学人文社会科学部教授 清山 玲さん



記念講演

誰もが幸せに生涯安心して暮らせる頼れる福祉国家を目指すにはどうすることが良いのか、難問が山積する日本の社会保障制度の現状について話されました。

仕事と生活の両立に不可欠なインフラである社会福祉サービスの充実が必要で、そのためには医療・福祉業界の働き方改革をし、ワークライフバランスを整え、働きやすい、働き続けられる環境づくりが大事であると話されました。労働力確保の一手として、離職する人の理由をしっかりと把握し、働けなくなった理由が改善されたら再雇用の声をかけるといった、リテンションマネージメント（離職者の再雇用リスト管理）が紹介されていました。これまでの集団管理から、個々の生活や働く背景を把握し管理していくダイバーシティマネージメントにすることで、働き続けられる、戻ってこられる、医療・介護現場こそ、ダイバーシティを取り入れることが必要と話されました。

ジェンダー視点を取り入れ、誰もが働いてハッピーになれる社会づくりを、と講演をまとめられました。

主催

第53回 医療研究全国集会組織委員会

TEL 03-3875-5871

日本医療労働組合連合会 <http://www.iryuren.or.jp/>
〒110-0013 東京都台東区入谷1-9-5 日本医療労働会館3F

公益財団法人 日本医療総合研究所 <http://iryousouken.jp/>
〒110-0013 東京都台東区入谷1-9-5 日本医療労働会館1F

協賛 第53回医療研究全国集会in茨城・現地実行委員会／茨城県医労連

基調フォーラム

2040年に向けた新たな地域医療構想は、医療・介護・福祉現場に何をもたらすか

基調フォーラムは、長友薫輝さん（佛教大学教授）をコーディネーターにそれぞれの立場から2040年に向けた新たな地域医療構想について問題提起されました。

コーディネーター・佛教大学教授
長友薫輝さん



社会保障の所得再分配機能を生かすことの重要性を指摘しました。政府が進める全世代型社会保障改革や新たな地域医療構想による医療再編・削減ではなく、地域医療を充実させ、住み続けられる地域づくりと受療権・健康権の保障を進めるべきだと訴えられました。

茨城県民医連会長・城南病院医師
加賀美理帆さん



茨城の医師不足による県立3病院統合の現状、24年12月から県として全国で初めて開始された救急搬送時の選定療養費徴収問題に触れ、いつでもどこでも誰でも安心してかかる医療のため職場や立場を超え、今こそ地域での連帯が必要と語られました。

茨城県厚生連労組書記次長
全厚労医療研前委員長
安本真理子さん



翠清福祉会専務理事
簾内信行さん



茨城の介護職員不足、訪問介護事業所運営の危機的状況を知らせ、事業継続、労働者の賃金処遇改善のための大胆な施策が必要と提起されました。



地域医療を守るための茨城県の取り組みから、地域医療は組合内部の運動だけでなく、地域住民と共に取り組むことで前進するという実践のお話がありました。

Ibaraki豆知識 Vol.3



茨城県の北部には、「花貫溪谷」や「袋田の滝」「御岩神社」などのパワースポットも存在しています！（動画で、御岩神社、光の柱と検索してみてください）
県南地区では、「霞ヶ浦」やつくばの「JAXA筑波宇宙センター」なども必見です！

参加者の声

長友先生の医療は供給が必要を生むという言葉が本当にその通りと納得しました。明日も第一分科会で深めたいです。

今日の話を聞いて、色々な意味で連帯は大切と感じました。フォーラムは三者の意見を一気に聞ける機会はなかなかないので勉強になりました。

フォーラムの住民との繋がりの運動が、生き生きと話されていて印象に残り、勉強になりました。